学位被授与者氏名	公孫　苗苗（こうそん　みょうみょう）
論文題目	組織的公正の視点から見るメンバーシップ型雇用とジョブ型雇用
論文審査結果の要旨	組織行動論の領域において、「組織的公正」は現在でも研究されているが、この議論がどのような位置づけをもつものであるかに関する定説はまだないと言っていい。本研究では、まだ研究途上にある「組織的公正」について、その理論研究・実証研究を幅広く渉猟した上で、それらを歴史・各次元の関係性の観点から整理し、独自の視点で組織的公正を把握する枠組みを提示しており、高く評価できる。 また、組織的公正の議論は、特に日本においては近年、人事労務管理論、人的資源管理論の領域で人事評価の視点から援用されることも多い。ただし、人事労務管理、人的資源管理についてジョブ型とメンバーシップ型を区別し、組織的公正の観点から評価するものは、現状ではほぼないと言っていい。本研究は、現実において進行中のテーマである「日本企業は現在のままのメンバーシップ型でよいのか、あるいはジョブ型に移行すべきか」という議論に対して、組織的公正の観点からすると、ジョブ型に移行すべきとの結論を示しており、この点で独自性の非常に高い研究となっている。 なお、本研究について、論文内で言及されているとおり、組織的公正理論の分析の不十分さ、また、ジョブ型雇用・メンバーシップ型雇用を評価するに際しての事例の不十分さなどの課題は指摘できる。 2025 年 2 月 14 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3－324 教室において審査委員全員出席のもとで、最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で本論文が修士（経済学）として十分な内容であると判定した。